

令和4年度 第1回市政モニターアンケート

「広報活動」の集計結果からの考察

SNSを活用したタイムリーな情報発信が求められている

スマートフォンの普及により SNS で情報収集する人が増えていることから、市政情報の媒体の核である広報紙と並んで、SNS での情報発信が求められている。

インターネットで検索する代わりに SNS のハッシュタグ(#)を利用して情報収集するなど、SNS で気になる情報をチェックすることが日常生活の一部となっており、リアルタイムで得た情報をきっかけに行動に移すなど、影響力も大きいことが伺える。

広報紙と異なり SNS は即時発信が可能であることから、新しい施設やお店、イベント情報、子育て情報などが求められており、季節ごとの細かな情報やコアな情報を取り上げて、こまめに発信する必要がある。

ホームページは、知りたい情報をすぐ見つけられる工夫が必要である

富士宮市公式ホームページは、行政手続きや新型コロナウイルス関連情報など、知りたいことがあるときに利用されるため、検索機能が使いやすいことや、分かりやすくカテゴリ分類されていることが求められている。

知りたい情報が掲載されていなかったり、情報量が多くてどこを見ればよいか分からない、文字ばかりで写真や画像が少なく視覚的に見にくいという声もあるので、全体のレイアウトだけでなくページの内容も充実させる必要がある。

現在、ホームページ内の既存ページを見直しているところであるが、令和7年度のシステム更新時には、パソコンだけでなくスマートフォンで閲覧することを考慮したデザインや操作機能を検討し、リニューアルしていく。

データ放送(dボタン)での情報発信においては、周知と操作説明が重要である

普段から馴染みのあるテレビで富士宮市の情報を取得できるデータ放送(dボタン)は、SNS を利用しない方やお年寄りなど幅広い世代にとって、情報を得る手段の1つとして有効であることが伺える。

しかし、データ放送の認知度は高くても、実際に利用している人は限られており、また高齢者にはデータ放送を使いこなすのが難しいのではないかと操作方法への懸念が心配される。

そこで、データ放送導入の際は、データ放送で市政情報を発信していることをまず知ってもらうための周知を行い、テレビ操作に不慣れな人もわかりやすい操作説明を行うなど、市民が使いこなせるようサポートする必要がある。